

# 防 災 係

## 第 1 災害対策・消防活動

### 1 災害対策

#### (1) 訓練

##### ア 福生市総合防災訓練

日 時 平成 24 年 8 月 26 日(日) 災害対策本部訓練 午前 8 時 30 分～正午  
各訓練会場 午前 9 時～正午

目 的 大規模な地震が発生したとの想定のもとで、市民の迅速な避難、関係機関との連携及び自主防災組織の行動力の向上を図った。また、今年度は新たな関係機関として、東京都水道局、多摩工業高等学校及び福生市防衛協会女性部が参加した。

場 所 災害対策本部 福生市役所 (85 人)  
第 1 訓練会場 福生第四小学校 (497 人)  
第 2 訓練会場 福生第二小学校 (223 人)  
第 3 訓練会場 福生第五小学校 (192 人)  
第 4 訓練会場 福生第六小学校 (220 人)  
第 5 訓練会場 福生第七小学校 (259 人)  
第 6 訓練会場 自由広場 (165 人)  
第 7 訓練会場 福栄ミレニアムパーク (232 人)  
福生市災害ボランティアセンター 福生市福祉センター (240 人)  
(ふっさボランティア・市民活動センター)

※ ( ) 内は各訓練会場参加者数

参加機関 福生市 福生市消防団 福生消防署 福生警察署 陸上自衛隊 福生市交通安全推進委員会 福生消防署防災女性の会 (株)NTT東日本ー東京西 武陽ガス(株) 福生アマチュア無線クラブ 福生 L P G 協会 災害時支援ボランティア 福生市社会福祉協議会ふっさボランティア・市民活動センター 市内自主防災組織 福生市医師会 公立福生病院 東京都柔道接骨師会西多摩支部福生地区 福生市建設防災協力会 羽村市消防団 国土交通省京浜河川事務所 東京都水道局 多摩工業高等学校 福生市防衛協会女性部 民生委員・児童委員協議会

参加者数 2,113 人

##### イ 起震車体験訓練

目 的 人工地震の体験を通して、防災行動力の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的とし、自主防災組織、学校、事業所等において福生消防署の協力により初期消火訓練、応急救護訓練等と併せて実施した。

運用回数 29 回 (平日 16 回 土・日曜日 13 回)

運用先 自主防災組織 9 回 学校等 13 回 事業所等 7 回

体験者数 3,739 人

#### (2) 災害対策事業

##### ア 防災啓発活動

###### (ア) 自主防災リーダー講習会及び救命講習会

講習日 平成 24 年 6 月 30 日(土) 午前 9 時～午後 4 時

場 所 福生市役所

受講者数 52 人

###### (イ) ふっさ防災展

開催日 平成 25 年 1 月 16 日(水)・17 日(木)・18 日(金)

場 所 福生市プチギャラリー

内 容 「東京都地域防災計画」 東京都地域防災計画修正内容、東京都帰宅困難者対策条例、福生市の被害想定  
 「備蓄品紹介」 ご家庭や職場での備蓄品と備蓄食料  
 「自分の身を守る」 福生市の避難場所、各種資料配布  
 「消防署コーナー」 災害時支援ボランティア資機材紹介、家具転倒防止器具展示、住宅用火災警報器、子ども用防火服試着コーナー

※ コーナーごとに、パネル・実物の展示及びパンフレットの配布を実施。入場者には、福生消防署が用意した消しゴム、ペーパークラフトを配布。また、アンケートにご協力いただいた方へはポケットティッシュや笛等の啓発物品を配布した。

見学者数 413人

(ウ) 自主防災組織による災害体験学習

月日	自主防災組織名	学習場所	参加者数(人)
6.24	武蔵野地区	東京臨海広域防災公園	23
9.2	南田園二丁目地区	栃木防災館	32
9.9	富士見台地区	東京臨海広域防災公園	30
9.9	熊川牛浜地区	大宮防災館	104
9.22	本町第一・第二地区	東京臨海広域防災公園	35
9.30	本町第三地区	立川防災館	11
10.20	南地区	小平市ふれあい下水道館、多摩六都科学館	19
10.20	志茂第一地区	東京臨海広域防災公園	32
10.21	志茂第二地区	横浜市民防災センター	30
10.27	永田地区	横浜市民防災センター	25
10.28	本町第六地区	立川防災館	27
10.28	本町第七地区	東京臨海広域防災公園	47
11.18	福栄地区	立川防災館	24
11.23	本町第八第一地区	東京臨海広域防災公園	38
11.25	牛浜第二地区	横浜市民防災センター	26
12.8	本町第八第二地区	さいたま市防災センター	32
H25.1.27	武蔵野台一丁目地区	立川防災館	30
2.2	原ヶ谷戸地区	山梨県立防災安全センター	32
2.3	玉川台地区	立川防災館	31
2.9	長沢地区	東京臨海広域防災公園	28
2.10	加美平団地地区	立川防災館	30
2.16	内出地区	東京臨海広域防災公園	23
2.17	鍋ヶ谷戸第一地区	東京臨海広域防災公園	40
2.17	加美第一・第二地区	東京臨海広域防災公園	28
3.10	本町中央地区	消防博物館	28
合 計			805

## (エ) 自主防災訓練の実施

自主防災組織名	参加者数(人)	自主防災組織名	参加者数(人)
福生熊川住宅地区	240	志茂第一地区	114
南地区	270	志茂第二地区	232
内出地区	175	本町第一地区	30
武蔵野地区	56	本町第二地区	92
福東地区	408	本町第三地区	8
鍋ヶ谷戸第一地区	107	本町中央地区	7
鍋ヶ谷戸第二地区	52	本町第六地区	110
玉川台地区	110	本町第七地区	521
富士見台地区	243	本町第八第一地区	96
福栄地区	51	本町第八第二地区	496
熊川牛浜地区	159	武蔵野台一丁目地区	17
南田園一丁目地区	四地区合同水防 災訓練 134	加美平団地地区	130
福生団地地区		永田地区	295
南田園二丁目地区		長沢地区	171
南田園三丁目地区		加美第一地区	二地区合同 147
牛浜第一地区	加美第二地区		
牛浜第二地区	150	合 計 (34 地区)	5,200
原ヶ谷戸地区	482		

## イ 各自主防災倉庫配備品

品名	各数量	品名	各数量
毛布	15 枚	投光機	1 台
ポリタンク	1 個	三脚(投光機用)	1 台
応急救護セット	1 セット	発電機	1 台
骨折セット	1 セット	ガソリン携行缶	1 個
救急箱	1 セット	ロープ(15m)	1 巻
担架	4 台	三角バケツ	10 個
テント	1 張	のこぎり	1 本
ヘルメット	45 個	オイルパン	2 個
ハンドマイク	2 台	メガホン (トランジスター型 1 個)	5 個
移動式炊飯器	1 台	のぼり旗	2 本
防水シート	10 枚	リヤカー (折り畳み式 2 台)	3 台
スコップ	5 本	バール	1 本
コードリール	1 巻	ラジオ付ライト	3 個
強力ライト	3 個	チェンソー	1 台
ハンマー	3 本	災害救助工具セット	2 セット
つるはし	1 本	軽可搬式消防ポンプ ※	1 台
一輪車	1 台		

※ 内出地区、武蔵野地区、福東地区、熊川牛浜地区、牛浜第一地区、  
原ヶ谷戸地区、志茂第二地区、本町第七地区、本町第八第一地区、  
本町第八第二地区、永田地区、長沢地区、加美第二地区 計 13 地区

ウ 応急対策資器材・物資整備  
 応急食料として乾パン等のランニングストックを継続実施した。

エ 初期消火体制整備  
 街頭設置消火器及び格納箱の新旧取替えを実施した。

## 2 消防活動

### (1) 常備消防（福生消防署）

福生市、羽村市、瑞穂町の2市1町を管轄区域として、本署と3出張所に総員187名の署員と消防ポンプ車5台、非常用ポンプ車2台、化学車1台、はしご車1台、救急車4台、非常用救急車1台、指揮隊車1台、査察広報車4台及び人員輸送車1台からなる陣容で予防行政の執行、消防活動等に従事している。

出場状況（管轄区域） （単位：件）

火災	非火災	水災	救急	救助	危険排除	緊急確認	合計	前年度合計
84	24	6	9,393	328	75	61	9,971	8,160

### (2) 非常備消防（福生市消防団）

市内にある5個分団からなる消防団組織（団員186人。消防ポンプ車5台及び指揮車1台を保有）により、消防活動を実施している。

ア 消防団組織

団 長	—	第一分団長	—	副分団長	—	部 長	—	班 長	—	団 員
		(1人)		(2人)		(3人)		(9人)		(20人)
副 団 長	—	第二分団長	—	副分団長	—	部 長	—	班 長	—	団 員
		(1人)		(2人)		(3人)		(9人)		(20人)
(1人)	(4人)	第三分団長	—	副分団長	—	部 長	—	班 長	—	団 員
		(1人)		(2人)		(3人)		(9人)		(20人)
		第四分団長	—	副分団長	—	部 長	—	班 長	—	団 員
		(1人)		(2人)		(3人)		(9人)		(20人)
本部付団員	(6人)	第五分団長	—	副分団長	—	部 長	—	班 長	—	団 員
		(1人)		(2人)		(3人)		(9人)		(20人)

イ 配置車両

分団名	車両ナンバー	車 両 の 種 類	車両購入年月日
団本部	八王子 800 さ6574	普通自動車「ワゴンタイプ」（日産）	平成15年9月
第一分団	八王子 88 す 659	普通消防ポンプ自動車（日野）	平成10年11月
第二分団	八王子 830 さ2302	普通消防ポンプ自動車（いすゞ）	平成25年1月
第三分団	八王子 830 さ2303	普通消防ポンプ自動車（三菱）	平成11年11月
第四分団	八王子 830 さ2304	普通消防ポンプ自動車（いすゞ）	平成24年2月
第五分団	八王子 830 さ2305	普通消防ポンプ自動車（三菱）	平成12年12月

ウ 年齢別団員数

（単位：人）

年齢 団員数	18～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51歳以上
186	6	39	45	39	33	23	0	1

エ 在職年数別団員数

在職年数 団員数	5年 未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
186	66	47	27	34	10	1	1

オ 退団・入団員数

(単位：人)

区 分	平成24年4月1日現在	退団者	入団者	階級異動	平成25年4月1日現在
本 部	5				5
本部付団員	6				6
第一分団	35	1	1		35
第二分団	35	1	1		35
第三分団	35	1	1		35
第四分団	35				35
第五分団	35				35
合 計	186	3	3		186

カ 消防団員火災出動状況

火災発生件数(件)	出 動 回 数 (件)	延べ出動団員数(人)	平均出動団員数(人)
35	24	2,197	91.5

キ 消防団出動状況 (風水害等)

延べ出動団員数(人)	出 動 回 数(回)
237	2

ク 消防団警戒等特別出動状況

警 戒 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
祭 礼 警 戒	122	2
七 夕 警 戒	441	4
歳 末 警 戒	273	5
そ の 他 の 警 戒	135	5
合 計	971	16
前 年 度 合 計	1,019	16

ケ 消防団各種訓練 (消防)

訓 練 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
火 災 防 御 訓 練	750	17
ポ ン プ 操 法 訓 練	4,190	53
機 関 訓 練	1,570	57
規 律 ・ 礼 式 訓 練	357	4
教 育 訓 練	431	11
住 民 指 導	319	18
合 計	7,617	160
前 年 度 合 計	8,018	176

コ 消防団各種訓練（災害）

訓練名	延べ出動団員数（人）	出動回数（回）
教育訓練	0	0
住民指導	154	1
合計	154	1
前年度合計	164	2

サ ポンプ操法審査会（第60回記念）

審査会は、消防ポンプ操法の基本を身につけ、指揮者と団員との連携を訓練し、もって団員の士気向上を図り、火災防御活動の迅速かつ確実な実施及び火災による生命・財産の損害の防止を目的とし、ホースカーによるホース延長操法及び手びろめによる延長操法を隔年で実施している。

平成24年度	手びろめによるホース延長操法		
	優勝	第2位	第3位
総合成績	第四分団	第三分団	第二分団
チーム成績	第四分団B	第二分団A	第三分団B

前年度	手びろめによるホース延長操法		
	優勝	第2位	第3位
総合成績	第五分団	第一分団	第三分団
チーム成績	第二分団B	第三分団B	第五分団A

※平成24年度は、ホースカーによるホース延長操法の予定であったが、現在、各分団の消防ポンプ自動車の更新事業を実施しており、車両の操作方法が異なるため、手びろめによるホース延長操法とした。

(3) 火災の状況

ア 月別火災発生件数

区分 月	建物			車両 (件)	その他 (件)	合計 (件)	※ 焼失面積 (㎡)	非火災 (件)	消防団 出動回数 (回)
	全焼 (件)	半焼※ (件)	ぼや (件)						
4			2	1	1	4	0 (5)	2	2
5			2	1	1	4	0	1	3
6							0	3	2
7			1		3	4	0		0
8					2	2	0	2	1
9		2			2	4	0 (3)	2	2
10					1	1	0	2	0
11		2	2		3	7	40 (4)	2	4
12			1		2	3	0	2	2
25年1			1		1	2	0	1	2
2			1		2	3	0	1	1
3					1	1	0	6	5
合計	0	4	10	2	19	35	40 (12)	24	24
前年度 合計	0	5	7	2	11	25	40 (23)	10	14

※半焼は、部分焼を含む。

※焼失面積は焼失床面積、（ ）内は天井、壁等の焼失表面積

イ 原因別火災件数

(単位：件)

原因		放 火 (疑い含む。)	たばこ	ストーブ	ガスコンロ等	火遊び	その他	合計
件 数	平成 24 年度	17	5	1	1	1	10	35
	前 年 度	18	1	0	0	0	6	25

(4) 消防水利施設

ア 水 利

(単位：基、箇所)

消 火 栓		合 計	防 火 水 槽			貯 水 槽		合 計	プ ー ル
150 mm 未 満	150 mm 以 上		20 m <sup>3</sup> 未 満	20 m <sup>3</sup> 以 上 40 m <sup>3</sup> 未 満	40 m <sup>3</sup> 以 上 60 m <sup>3</sup> 未 満	60 m <sup>3</sup> 以 上 100 m <sup>3</sup> 未 満	100 m <sup>3</sup> 以 上		
464	157	621	35 (0)	5 (0)	99 (89)	18 (18)	22 (22)	179 (129)	17

( ) は、耐震性防火水槽・貯水槽で内数

イ 消火栓新設箇所

(単位：mm)

番号	設 置 箇 所	口 径	備 考
	0 箇 所		

ウ 消火栓移設箇所

(単位：mm)

番号	設 置 箇 所	新 口 径	旧 口 径	備 考
1	大字熊川 46 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
2	大字熊川 80 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
3	大字熊川 75 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
4	大字熊川 232 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式双口→地下式双口
5	大字熊川 164 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
6	大字熊川 160 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
7	大字熊川 199 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
8	大字福生 255 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
9	大字福生 2147 番地先	φ 150×φ 75	φ 150×φ 75	地下式単口→地下式単口
10	大字福生 2245 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
11	大字福生 2255 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
12	大字福生 2313 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
13	牛浜 22 番地先	φ 300×φ 75	φ 300×φ 75	地下式単口→地下式単口
14	牛浜 25 番地先	φ 300×φ 75	φ 300×φ 75	地下式単口→地下式単口
15	志茂 61 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
16	志茂 125 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
17	志茂 143 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
18	加美平一丁目 9 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
19	加美平一丁目 10 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
20	加美平一丁目 12 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
21	加美平一丁目 20 番地先	φ 100×φ 75	φ 100×φ 75	地下式単口→地下式単口
合計	21 箇 所			

エ 消火栓補修箇所

(単位：mm)

番号	設 置 箇 所	口 径	備 考
1	大字熊川 349 番地先	φ 300×φ 75	地下式単口
2	大字熊川 1642 番地先	φ 100×φ 75	地下式単口
3	大字福生 431 番地先	φ 100×φ 75	地下式単口
4	大字福生 921 番地先	φ 100×φ 75	地下式単口
5	加美平一丁目 9 番地先	φ 100×φ 75	地下式単口
6	北田園二丁目 9 番地先	φ 200×φ 75	地下式単口
7	北田園二丁目 15 番地先	φ 100×φ 75	地下式単口
8	北田園二丁目 22 番地先	φ 100×φ 75	地下式単口
9	北田園二丁目 23 番地先	φ 100×φ 75	地下式単口
合計	9 箇 所		



## 第2 東日本大震災に伴う対応

### 1 被災者に対する支援状況

- (1) 義援金額 1,340,349 円 (日本赤十字社分)

※義援金総額 122,729,358 円 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

(内訳)

東京都市長会分 8,212,562 円 (内、駅前で実施した募金活動分 719,983 円)

日本赤十字社分 114,516,796 円 (平成 23 年度分 113,176,447 円 24 年度分 1,340,349 円)

- (2) 市営住宅の提供 3 戸

※提供戸数延べ 4 戸 (平成 25 年 3 月 31 日現在 1 戸入居中)

- (3) 災害派遣従事車両証明書の発行 12 枚

※発行累計 535 枚 (平成 23 年度 523 枚、平成 24 年度 12 枚)

注：被災地自治体が要請する震災の応急復興に必要とされる業務や、現地ボランティアセンターにおいて受入れ調整ができていないボランティア従事者に対して、被災県と高速道路管理会社等の間で調整が取れている有料道路を無料で通行するための証明書を発行した。

### 2 市内への避難者の状況

- (1) 避難者数 4 人 (2 世帯)

※避難者数延べ 100 人 45 世帯 (平成 25 年 3 月 31 日現在避難者数 60 人 28 世帯)

全避難者分の転入出情報を全国避難者情報システムへ登録

注：全国避難者情報システムとは、各地に避難している方の情報を全国的に取りまとめ、避難元となる県・市町村に情報提供し、見舞金等の各種給付のお知らせや国民健康保険証などの再発行、税や保険料の減免・猶予・納期限延長などの重要なお知らせを届け出できるようにするための都道府県・市町村の事務の連携の総称

- (2) 避難者に対するサービス等について

「ふっさ げんきサポートカード」 の発行 50 枚

※カード発行累計 116 枚 (平成 23 年度発行枚数 66 枚、平成 24 年度発行枚数 50 枚)

注：避難者への情報提供の一元化、手続の簡素化などの利便性を図るため、避難者支援カード

「ふっさ げんきサポートカード」(有効年限：1 年)を全国避難者情報システムに登録した方を対象に平成 23 年 6 月 1 日から交付し、提供する各種相談、市内公共施設の使用料・手数料の減免等のサービスを一覧表にまとめ周知

「ふっさげんきサポートカード」の提示で受けられるサービスの実施状況

部署名		サービス（制度・支援）	【24年度】 利用件数
総合窓口課	総合窓口係	各種証明書発行手数料免除	29件
環境課	ごみ対策係	廃棄物処理手数料減免	15件
スポーツ推進課	スポーツ推進係	施設使用料の免除	1件
合計			45件

その他、事前予約、手続、確認等が必要なサービスの実施状況

部署名		サービス（制度・支援）	【24年度】 利用件数
保険年金課	保険年金係	保険税徴収猶予・減免	29件
		国民健康保険一部負担金免除	69件
	後期高齢医療係	保険料免除	6件
		一部負担金免除	4件
指導室	学務・指導係	就学援助	6件
公民館	公民館	市民会館での市主催事業の入場券無料	3件
安全安心まちづくり課	地域安全係	自転車の提供	1件
フレッシュランド西多摩 （西多摩衛生組合）	フレッシュランド西多摩 （西多摩衛生組合）	浴場施設「フレッシュランド西多摩」 利用料金免除【大人】	75件
		浴場施設「フレッシュランド西多摩」 利用料金免除【子ども】	21件
合計			214件

### 3 災害救助法に基づく被災県への求償

求償額 2,395,737円（被災者に提供した市営住宅3戸分の賃料等）

※求償総額 累計29,455,764円（平成23年度27,060,027円、平成24年度2,395,737円）

注：災害救助法の適用された被災県へ、同法35条に基づく支援を行った際の経費について東京都を通して求償を行った。